

プラット ニュース vol.5



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT

12月21日
PLAT主ホール

劇場へ
行こう!

音楽監督 **宮川彬良**

×

芸術文化プロデューサー **中島晴美**

中島●2年前の最初の「アキラ塾」で「ウェストサイド・ストーリー」の成り立ちをお話しされたでしょう。

宮川●あの文化会館! 昔の僕が知っている映画館を思い出して懐かしくて、豊橋への親近感も湧いてきた。

中島●対立がテーマだから不協和音が多いとか、アニタが歌う『アメリカ』にアメリカの国歌が隠されているとか。私、すごく驚いて、この人の頭のなかをもっと知りたい、アーティスト・宮川彬良をクローズアップしたいって、思ったんですよ。

宮川●おそらく中島さんが驚かれたのはね、僕が「演劇の人」とか「音楽の人」という垣根を自然に超えて、あっちの水、こっちの水って行ってることなんじゃないかな。演劇と音楽はなかなか相容れないというか、演劇での音楽は、「私(芝居)の都合に合わせてね」だから。

中島●だから私、田尾下哲さんに演出をお願いしたんです。演劇を目指しながらオペラの演出もなさる彼に、音楽から何かを立ち上げてほしくて。ミュージカルは「なんで急に踊りだすの」って言われたりしますが、本当は急じゃない。ちゃんと曲があって、物語があって成り立っているって感じてほしいのね。

**生まれいずる人間に
無駄な存在はない**

宮川●僕、オーケストラの譜面を書いていたときに、いい編曲と悪い編曲の見分けがつかなくなったんです。悪いのは、

劇場は生きている 音楽から戯曲が 立ち上がる瞬間

2013年の最後にPLATが贈る「劇場へ行こう!」。これ、ただの市民参加型合唱音楽劇ではありません。「アキラ塾」でお馴染みのアキラ先生を中心に、演出の田尾下哲さん、さらに照明、舞台監督、空間デザイン等々とアーティストがぶつかりあい、PLATオリジナルの市民合唱団がそれぞれの「私」を解放する。「アマチュアは魔法」と、プロデューサーの中島は言います。歌うたび、アーティストたちと出会うたびに変わっていく。それがステージ上でどう炸裂するか、劇場にとっても未知の大冒険。今回は、その劇場に世界を創る宮川彬良さんのエキシに迫ります。



撮影:谷古宇正彦

塗り絵で「ここで緑を使っちゃおうかな」ってポンと塗っちゃおうみたいに、「ここのトランペットにしちゃおうかな」と、いわば思いつきで置いてしまう。だけど、たとえばブラームスの譜面はそうならない。

いい。休んでいる楽器も、次に名台詞を言うために必要だからこそ、休んでいる。

中島●戯曲でも、そうですよ。

宮川●そうでしょ? 一つも無駄がないでしょ?

中島●登場人物に無駄な人はひとりもいないというのが原則なんです。そして、お客さんには、何もしゃべっていない人のことを想像してもらう。世の中は自分だけじゃない、違う流れがあって、そこに自分の人生が炙り出されるんだとを感じる時間。宮川さんがよくおっしゃいますよね。生まれいずる人間には無駄な存在はないって。同じなんですよね。

宮川●だから、僕の目指しているのは戯曲なんです。交響曲も戯曲みたいに書かないとダメなんだって。実は僕ね、中学生のときにバンドを組んだんだけど、そのとき一番最初に書いたのが脚本なんですよ。

中島●えっ？

宮川●バンド名が「ゲルピンズ」で、「ゲルピンストーリー」という30分のミュージカル。授業中に脚本書いて、台詞を割って、うまいところで曲をポンといれる。なにしろレパートリーが1曲しかなかったもんで。それから全員参加の演劇祭があって、3年のときにやったのがゴーゴリの『検察官』！僕は音響を担当して、もうね、「このシーンとこのシーンは自分で曲を作る」って、ワクワクしちゃって。僕は演劇の、生の舞台の音楽をやる人になるんだって、本当に天啓を受けたんですよ。まあ、声は自分の声なんだけど。それで、高校は選択授業で演劇をとった。

音楽家のフリして ずっと演劇をやってきた

中島●稽古中に宮川さんが、「合唱は『清く正しく』じゃない、動きながら歌ってみよう」っておっしゃって。そうしたら急に、すごくよくなった。ジャズっぽくなったりスウィングしたり、なんかこう、みんなが自然に指を鳴らしたり。その稽古風景をロビーの画面で流していたらね、そこにいた人たちが、鼻歌みたいに『ぼくらのシアター』を歌い出したんです。まさに、ぼくらのシアターです。



宮川●だから僕は、そういうことを、つまり音楽家のフリをして演劇をやってきたんですよ。本だって歌詞だってなんだって言葉の、活字の奥に入り込まないと、面白くもなんともないじゃない？それを歌の中に見出した。この時代に、この人が、こういう言葉で歌ったんだって、脚本から音楽が聞こえてくる。これはもう完全に演劇だと思うんですよ。

中島●『ぼくらのシアター』は書き下ろしで、自分たちのことだから、みんな本当に喜んでます。

宮川●あの曲で、いろんな悲しいこと、楽しいこと、怒ることがあって、でも、この箱のなかは生きているんだってことを歌い上げるじゃない？「箱」って、つまりは劇場なんだけど、僕は、主ホールの、あの、何もかも機械に頼ってしまわない手動の感じは絶対に必要だと思う

んです。電気はいつでもあると思うなよ、というか。そして演劇って、機械がなければできないものじゃない。戯曲さえあれば、何百年昔のものでも、その音が聞こえて風景が目に見えかわけだから。楽譜もいっしょなんですけどね。

中島●はい。だから私は、宮川さんの、パソコンを使わない手書きの譜面はすごく大事な、宝物だと思っています。では、12月21日に向けて、よろしくお願ひします。思い切りやってください。

.....
[みやがわ・あきら] 作曲家・舞台音楽家。東京藝術大学在学中より劇団四季、東京ディズニーランドなどのショー音楽を担当。その後、数多くのミュージカルなどを手掛け、舞台音楽家としての地位を確立。代表作に『ONE MAN'S DREAM』、『マツケンサンバII』、『身毒丸』、『ザ・ヒットパレード』などがある。また、日本全国で演奏活動も行っており、自身で作曲、編曲、指揮、ピアノ演奏、解説を行いながら進めるコンサートは、定評がある。2003~10年NHK教育テレビ「クインテット」、09~10年NHK-BS2「どれみふぁワンダーランド」、11~12年NHK-BSプレミアム「宮川彬良のショータイム」など。



宮川彬良Presents『劇場へ行こう!』

音楽監督=宮川彬良 構成・演出=田尾下哲 合唱指導=近藤恵子

- 出演=宮川彬良[語り・ピアノ]／森由利子[ヴァイオリン]／中村淳二[フルート]川出三和子[チェロ]／榊原利修[コントラバス]／PLAT合唱団
- 日時=12月21日[土]14:00開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]一般:3,000円／学生[24歳以下]:2,000円 子ども[高校生以下]:1,000円 | 前売予定枚数終了 | 当日券あり

みんな、 劇場へやってきた!

大道芸 in とよはし at PLAT 2013
そして、来年は街へ溢れる

撮影:宮田明里

4月30日のオープンから約6か月。まだ一度も足を運んだことのない方にも、普段着の劇場を思い切り楽しんでほしいと、アートフェスティバル第2回目の今年は、PLATを全面開放。10月12、13日の2日間に渡って魅せるアーティストと集う人々が一体となったフェスティバルが繰り広げられました。その模様を、演劇情報誌『シアターガイド』の元編集長として、また、まつもと市民芸術館の広報担当として、松本市はもちろん各地の大道芸フェスティバルを見てきた今井浩一氏にレポートしていただきました。



のんほい劇場へようこそ

10月12日午前。そろいのTシャツ姿の劇場スタッフ、ボランティアが劇場隣接の広場で作業をしている。風は強いけどよい天気。出店する調理師専門学校の学生さんも準備万端。かわいいお菓子が並ぶ。カフェスペースには、パフォーマーたちのリラックスする姿。なんだかこの、のんほいな感じが豊橋らしさなのかなあとと思う。
全17組のパフォーマーが参加した「と

よはしアートフェスティバル2013『大道芸 in とよはし』は、劇場の主ホール、アートスペース、北側広場などを利用したコンパクトで、手作り感にあふれた大道芸イベントだった。

大道芸のスーパースター、ファニーボーンズがお客さんを挑発する。広場ではモテない女ぶりで笑わせる加納真実が、強風負けじと足を踏ん張る。室内に紛れ込んだ、大きな翼のnani-sole

大道芸ウォッチャー 今井浩一

は不安そう?に子どもたちに語りかける。外国人パフォーマーによるアイデア





満載のパフォーマンスはさることながら、身振りによるコミュニケーションが笑いを呼ぶ。彼らを見つめる観客の笑顔はどの街でも同じだ。

パフォーマンスを探しながら移動するう



ち、表も裏も開放した劇場を知らず知らずのうちに探検できるのは楽しい。ふだんは客席からしか観ることがない主ホールのステージ上に腰を下ろして、客席を背に演技する芸人を観るのが豊橋スタイルだけど、きっと「ステージに座った」感覚は、何かの催しで客席に座るたびに思い出されるだろうし、その宝は劇場をととても身近にしてくれるはず。だってステージから客席を眺める感動は本当ならアーティストだけが知っているものだから。

大道芸といえば、街かどで偶然出会い、パフォーマーが生み出す不思議な世界観にひととき引き込まれて、観終わったときの驚きと感動への対価として投げ銭を行う。今の日本では道路事情などあって、海外のように、いつでもどこでもというわけにはいかない。それを逆手にとって、日程と場所を定めた上でパフォーマンスと街歩きの両方を楽しむのが、橋本隆雄大道芸プロデューサーの仕掛けだ。初開催となった2012年は、劇場が建設中だったため豊橋駅周辺で行ったが、それは劇場ができていく胎動を感じてもらおうという趣向があったのかも。そして劇場を知ってもらおうことが狙いだったとしたら、今回も大成功だ。移動が少ないおかげで、出演者たちがほかの芸

人の演技をお客として楽しんで、投げ銭までしちゃうなんて、ほかではありえない「のんほい」ぶりだ。

不機嫌そうなライブペインターのジョン・ヒックスがマイケル・ジャクソンなど迫力ある絵を完成させるとどよめきが起こり、おかまキャラのセクシー DAVINCI には若いママたちが大喜び、死神姿のフェイスペインターのミホウには子供より大人のお客さんが頬を出す。

街中で観る儚さはなかったけれど、安心してじっくり楽しめる良さがあった豊橋の大道芸。テレビのニュースで取り上げられたこともあって、翌日は3倍くらいの人びとが劇場にあふれていた。中島晴美プロデューサーの狙いはそこにあ



る。毎回毎回お客さんがあふれ、大道芸が劇場というコップをこぼれるように街に広がっていく。そうやって、じわりじわ



り豊橋のお客さんと街が、劇場との信頼関係を築いていけばと考えている。

いくつかの街で大道芸を見て来た。1997年に始まった東京の三軒茶屋では、劇場の手を離れ、商店街自らがあれこれアイデアを主導するイベントになっている。茨城県日立市では街興しのイベントとして、商店街がここぞとばかりに腕を振るう。長野県松本市では、劇場が主催するサーカス&生演奏&お芝居が



融合した『空中キャバレー』のプレゼンとして大道芸が行われ、街と劇場の“事件”がうまく連動している。豊橋ではどんな大道芸に成長していこう。

大道芸を使った劇場の自己紹介。ベビーカーを押してくる若いお母さんたち、車いすや歩行器のおじいちゃんおばあちゃんたちの姿が目立っていたことはとても素敵だった。駅からまっすぐ入ってこられる構造や、バックステージにもバリアフリーが行き届いている劇場がPRできていた。多彩なお客さんに優しい劇場は、すでにさりげなく市民と手を取り合っている。

〔いまいこういち〕放送業界紙記者、月刊演劇情報誌「シアターガイド」編集長、まつもと市民芸術館広報担当を経て、現在フリーランスのライター、編集者として活動。

未だ見ぬダンスのその先へ

～9月28・29日、平山素子ダンスワークショップショーイングから～

見慣れた壁のレンガも木目も、窓から洩れ入る光さえもが、いつもとまるで違う表情を見せる。転落防止の格子戸が舞台装置として呼吸を始める。大胆に対角線に斜めに切って設えられた客席はわずか100席。交流スペースに面した窓ガラスに突然ダンサーが張りつき、外にいる人々を巻き込む。アートスペース。もともと枠にとらわれないスペースとして創られた空間が、さらに自由に動き始める。生み出したのはすべて、平山素子。アートスペースの可能性を存分に開いたこの平山素子ダンスワークショップショーイング。PLAT初の自主舞踊公演なればこそ、誕生しえた。

ことの始まりは、まだPLAT建設中の2011年の夏、こども未来館「ここにこ」での「平山素子ムーブメントワークショップ マスターコース」。以来、足掛け3年。今春、市内外よりワークショップに集まった総勢108名からさらにオーディションを経て15名が選抜され、ゲストダンサーに大嶋正樹、竹内梓を迎えて、平山のもとで作品づくりに挑んできた。経歴もダンス歴も異なるアマチュア、そこにプロも加わるといって、いわばアンバランスなメンバーを一つにする平山素子。かと思えば、自らトヨッキーとして登場もする。その真髄を感じていただきたく、インタビューを試みた。



平山素子

撮影池上直哉

インタビュー | 平山素子 [構成・演出]



メンバーは年齢も経験もさまざま。その違いを軽々と超える。

トヨッキーになる。私には普通のこと。

—— 公演までの滞在期間2週間と、創作には短い時間でした。

平山●朝起きたら劇場に行ったら夜はホテルに帰って寝るだけ。創造活動室Aは本当に集中できる良い空間で、そこに朝11時に入って夜10時までトイレ以外はどこにも行かない。結局、豊橋の市内は何も知らないままでした。でも、ものづくりにとって集中することは大切で、こういう創造の場を提供していただいたのは本当にありがたかったです。アーティストにとってじっくり自分を見つめることにもなるし、2週間は短いけれど、すごく贅沢な時間でした。

ちょっとした裏切りのさじ加減

—— トヨッキーから始まった構成も素晴らしかった。

平山●私がコンテンポラリーダンスを好きな理由は枠組にとらわれたいから。どこかでちょっとはみ出したい。だからトヨッキーになることはなんら問題がない。観客は舞台に立つ人はミステリアスであってほしいという願望があるのか、直接私に会ってびっくりされることがあるんですよ。「あれ、コンビニで買い

物してる」とか。「平山素子ってこういう人だよ」っていう決め事のなかで安心感を覚えているなら、そこにちょっとした裏切りみたいなものを差し込んで、リスクを負わせる体験がないかって。遊び心はスパイスとして私の舞踊観に必要なもの。そして「あたりまえ」から離脱していく。

—— 一方で、大学で学術的なことを教えていますよね。そのせいか、言葉がとても豊かです。

平山●ありがとうございます。言葉にはすごく興味があるんです。「うー、すごいな」って思う方は、やっぱり言葉がきれい。自分でも、演出や振付で自分のイ

マジネーションを伝えるとき、もちろん「動いたらわかる」でいいんですけど、なにかもう一つ、イメージの扉の鍵のように美しい言葉が出ないかなって。たとえば、天気の良い日に、ただの「天気がいい」を、「薄いカーテンから光が覗き」とか、小説家のようにいろんな言葉に置き換える。これ、ダンサーのワークショップで実験的にやったりすると明らかに効果出るんですよ。

何もないければ、自分で生み出す社会の基本だと思う

—— 今回のメンバーは中学生から社会人までと幅広い上にプロも加わって、技

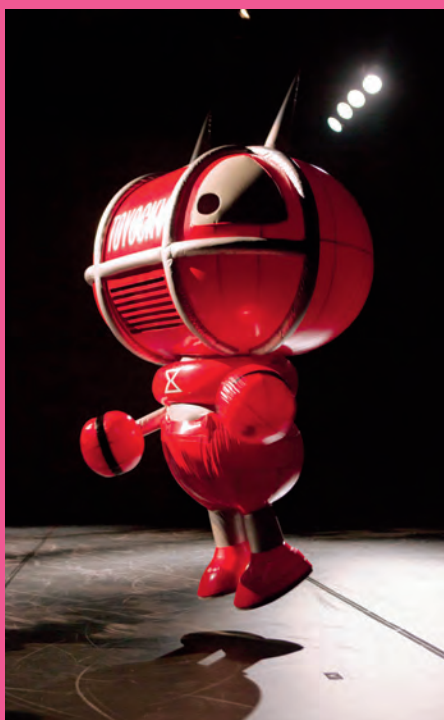
能的にはかなり差がありました。「自分たちで創りなさい」というテーマを与えて、難しい面もあったのでは。

平山●私より参加者のほうが難しく感じましたと思います。課題を出してほったらかしましたからね。でも、「何もないければ自分で生み出せ」って、社会の基本でしょ。今の人は何でもあるから、つい、それを使って何かをしてしまうけれど、実は何もないのが当たり前。すべては、そうじゃない？ もう、生きること自体がすでに難しいわけだから。ダンスだけが難しいわけじゃないんですよ。

ただ、私はやっぱり身体の専門家なので、最終的なアドバイスはバシッとしま

す。見ていなくても、身体の温度、信号でわかる。筋肉が変なふうに緊張する瞬間がビューって伝わってくる。「そのリフト、降ろし方よくないよ」って言うと、「見てなかったんじゃないですか」って、みんな、すごく不思議がります。

—— でも、みんな「安心してやっていいんだ」って感じたと思いますよ。私はワークショップを見て、ダンスで動き出した人がたくさんいると、実感しました。お客さまも、たとえば3分の曲にもちゃんと物語があるんだって、それが見えたときは嬉しいんじゃないかと。だから、早く劇場でやりたいと最初から思っていました。



トヨッキーが跳んだ。ゆるきゃら史上最強(?)の動きがここPLATで。



圧巻の平山ソロ。空間のすべてが平山に吸収されていくようだ。



県内の大学講師としてダンスを教えている三輪亜希子さん(写真右)や成瀬麻美さんは3年前のワークショップから参加。三輪さんは、すでに「劇場へ行こう!」の振付として、新たなステップを踏み出している。



拍手喝采のカーテンコール。舞台を大胆に斜めに区分けし、アートの空間が持つ可能性を存分に広げた。

平山●お客さまはダンスがわかるかどうか不安みたいです。でも、もっと探り合いを楽しんでもいいと思うんです。日常にもある、一言では片付けられないこと、表せないこと。裏側にある、「結局、この人、こういうことをしたいんじゃないの?」っていう探り合い。言い換えるならば興味を持って理解を深める。そして人間関係がめぐる。もしかして、自信がなくて話せないっていう人にとっても、ダンスは素敵な自己表現としていいかもしれません。

—— 来年は、プロのダンサーとしての平山さんに空間と時間を提供するので、また、よろしくをお願いします。

[聞き手=芸術文化プロデューサー 中島晴美]

チケットの購入・お問合せ

プラットチケットセンター [会員先行・一般発売]
 ● Web = <http://toyohashi-at.jp>
 ホームページから24時間いつでも予約可能です。*プラットフランスへの登録が必要です。
 ● Tel = 0532 (39) 3090
 ● 窓口 = 穂の国とよはし芸術劇場 1F Tickets & Informationカウンター

受付時間 [Tel・窓口]
 10:00 ~ 19:00
 (休館日をのぞく)

U24・高校生以下割引のご案内

若い人にこそ生の舞台を楽しんでもらいたいから、ほぼすべての豊橋文化振興財団主催公演に割引料金を設定しています。
 ● 料金 = U24 [24歳以下対象]: 公演ごとに指定する席種の半額
 高校生以下: 一律1,000円
 ● 購入方法 = 各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。
 ※一部公演により発売開始日や発売方法が異なります。
 ● その他 = 本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
 座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。

2013 12/21 SAT

当日券あり

前売予定枚数終了

宮川彬良Presents『劇場へ行こう!』

- 音楽監督 = 宮川彬良 ● 構成・演出 = 田尾下哲
- 合唱指導 = 近藤恵子
- 出演 = 宮川彬良 [語り・ピアノ] / 森由利子 [ヴァイオリン]
- 中村淳二 [フルート] / 川出三和子 [チェロ]
- 榊原利修 [コントラバス] / PLAT合唱団
- 日時 = 12月21日 [土] 14:00開演 ● 会場 = PLAT主ホール
- 料金 = [全席指定] 一般: 3,000円
- 学生 [24歳以下]: 2,000円 / 子ども [高校生以下]: 1,000円

1/19 SUN

好評発売中

PICK UP!

春風亭小朝プロデュース

ニューイヤー『三つの夢コンサート』 ~春風亭小朝・青島広志・寺井尚子~

- 日時 = 1月19日 [日] 16:00開演 ● 会場 = PLAT主ホール
- 料金 = [全席指定] S席: 6,000円
- 1Fバルコニー席: 5,000円 / A席: 4,000円

落語家、作曲家、ジャズヴァイオリニスト。異色のコラボレーションから生まれる一夜限りの夢のような音楽会。
 幼稚園、小学校と同級生だった落語家・春風亭小朝と作曲家・青島広志が日本のジャズヴァイオリンの第一人者・寺井尚子を招いた『三つの夢コンサート』。春風亭小朝のトークとピアニスト・三輪郁の演奏という珍しいデュオで繰り広げるメンデルスゾーンのパianoコンチェルト、寺井尚子によるスウィングヴァイオリン、そして青島広志のおしゃべりで展開するオペラの世界の三部構成でお贈りいたします。



春風亭小朝

青島広志

寺井尚子

©GAKKEN

©Keita Haginiwa

1/25 SAT

好評発売中

『美しきトリオ 室内楽コンサート』 ~高橋多佳子・磯絵里子・新倉瞳~

- 出演 = 高橋多佳子 [ピアノ] / 磯絵里子 [ヴァイオリン] / 新倉瞳 [チェロ]
- 曲目 = エルガー: 愛の挨拶 / チャイコフスキー: ピアノ三重奏曲 イ短調 作品50 「偉大な芸術家の思い出に」 他
- 日時 = 1月25日 [土] 15:00開演 ● 会場 = PLAT主ホール
- 料金 = [全席指定] 一般: 3,000円

2/9 SUN

好評発売中

PICK UP!

ケイリン福祉コンサート

『読売日本交響楽団演奏会』

~オール・チャイコフスキー・プログラム~
 叙情的で流麗、メランコリックな旋律で時代を映しだしてきたチャイコフスキー。晩年の名作「交響曲第5番ホ短調作品64」を含む代表作3曲でお贈りする、特別プログラム。

- 出演 = 松尾葉子 [指揮] / 松山冴花 [ヴァイオリン]
- 読売日本交響楽団 [管弦楽]
- 曲目 = 歌劇「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ / ヴァイオリン協奏曲二長調作品35 / 交響曲第5番ホ短調作品64
- 日時 = 2月9日 [日] 14:30開演
- 会場 = ライフポートとよはし コンサートホール
- 料金 = [全席指定] S席: 4,500円 / A席: 3,000円
- ユースチケット S席: 2,200円 / A席: 1,500円 ※枚数限定・24歳以下対象



©読売日本交響楽団

チャイコフスキーを彩る確かな表現者

小澤征爾に次ぎ日本人史上二人目の快挙を果たしたフランス・ブザンソン国際指揮者コンクール優勝の松尾葉子指揮、ヴァイオリンに、第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクールで、チャイコフスキー作品最優秀賞を受賞した松山冴花、そして創立以来、世界的な巨匠を指揮台に招くとともに、世界のソリストと共演を重ねる読売日本交響楽団という夢のような共演が実現します。



松尾葉子

叙情的に語られる運命の動機

58歳でこの世を去ったチャイコフスキーが晩年作り上げた「交響曲第5番」は、ベートーヴェンの「交響曲第5番」(通称「運命」)を意識し、作られたとされています。生まれた国も時代も違いますが、ともに「苦悩を経て歓喜へ」という主題が込められています。作曲から百年以上経た今もなお、多くの方から支持され続けている理由は是非、劇場で体感してください。



松山冴花

©武藤章

2/28 FRI — 3/2 SUN

PICK UP!

会員先行=12月8日[日] 一般発売=12月15日[日]

とよはし演劇工房『失望のむこうがわ』

平田満×三浦大輔

長年連れ添った、仲睦まじい夫婦に突然、衝撃の事実が…。リアルすぎて可笑しい、残酷だけれど哀しい、男と女。

- 作・演出=三浦大輔 [ポツドール]
- 出演=平田満/井上加奈子/平原テツ [ハイバイ]
- 日時=2月28日[金] 19:00開演/3月1日[土] 14:00開演
3月2日[日] 14:00開演
- 会場=PLATアートスペース
- 料金=[全席自由・整理番号付き]一般3,600円

豊橋市出身で俳優の平田満と、女優の井上加奈子が、作品ごとに個性的な若手劇作家を迎え濃密な人間関係を描いてきた演劇ユニット「アル☆カンパニー」。次作は、過激な作風で海外からも注目を集める三浦大輔を迎え、現代を切り取る。

今年の六月、老親の介護に直面した四兄弟を描いた悲喜劇「父よ!」でアートスペースの新たな可能性を提示した、芸術文化アドバイザー・平田満。次作は、岸田國士戯曲賞受賞作家であり、演出家の三浦大輔を作・演出に迎え、緊密で臨場感あふれる男女の心理劇をお贈りします。

三浦大輔2年半ぶりの新作!

「空気感」もへったくれもなく、踏ん張って、踏ん張って、死に物狂いで、言葉を紡ぎだす。小難しい芝居でもなくエンターテインメントな会話劇を目指したい。 三浦大輔

[みうら・だいすけ] 1975年生まれ。早稲田大学演劇倶楽部を母体として、96年12月、演劇ユニット「ポツドール」を結成。以降、全本公演の脚本・演出をつとめる。裏風俗店に集う若い男女のリアルな会話を描いた『愛の渦』(05年)で第50回岸田國士戯曲賞受賞。主な作品に、ポツドール『顔よ』(08年)、『夢の城』(06年、12年)、PARCOプロデュース『裏切りの街』作・演出(10年)、ホリプロプロデュース公演『THE SHAPE OF THINGS』演出(11年)、つかこうへい『ストリッパー物語』構成・演出(13年)などがある。自身が監督を務めた、映画『愛の渦』が2014年3月1日公開予定。



3/21 FRI

会員先行=1月18日[土] 一般発売=1月26日[日]

『おそるべき親たち』

- 作=ジャン・コクトー ●台本=木内宏昌 ●演出=熊林弘高
- 出演=佐藤オリエ/中嶋朋子/満島真之介
中嶋しゅう/麻実れい
- 日時=3月21日[金・祝] 14:00開演
- 会場=穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール
- 料金=[全席指定] S席:6,000円
1Fバルコニー席:5,000円/A席:4,000円

フランスの芸術家ジャン・コクトーが1938年に描いた衝撃作。2010年の上演では、文化庁芸術祭大賞をはじめ数々の演劇賞を受賞しました。圧倒的な存在感を誇る5名の出演者が、家族を取り巻く愛情、欲望、嫉妬を描きます。

PLATダンストーク&レクチャー 好評受付中

『世界にはこんなダンスが生まれている!』

「意味が分からない」「どう見ればよいのか分からない」と思った方必見! コンテンポラリーダンスを、日本や海外の秘蔵映像と合わせて、やさしく解説するトーク&レクチャーの第1回目です。

- 講師=乗越たかお [作家・ヤサぐれ舞踊評論家]
- 日時=12月14日[土] 16:00—18:00
- 会場=PLAT創造活動室B ●参加料=無料
- 定員=30名 [先着順] ※定員に満たない場合は当日参加も可
- 締切=12月12日[木] ●対象=年齢不問。どなたでも
- 申込方法=プラットチケットセンター
電話のみ Tel:0532(39)3090

PLATワークショップ 好評受付中

近藤芳正演劇ワークショップ 『はじめまして〜豊橋市民のみなさん』

舞台・テレビ・映画など多方面で活躍する俳優であり、自らの演劇ユニットのバンダラコンチャを主宰する近藤芳正さんによる演劇ワークショップを開催します。俳優を目指している方から、俳優に興味のある方まで、特に経験は問いません。広く参加者を募集致します。1日完結型で2日間同じ内容のワークショップを実施します。

- 日時=2月15日[土]・16日[日] 13:00—17:00
- 会場=PLAT創造活動室A
- 講師=近藤芳正
[俳優、バンダラコンチャ主宰]
- 講師助手=山田佳奈
[劇作家・演出家・俳優、ロズック主宰]
- 参加料=1,000円
- 定員=各日20名程度 [応募者多数の場合は書類選考あり]
- 締切=1月10日[金] 17時必着
- 対象=高校生以上の演劇に興味のある方
- 申込方法=専用の申込用紙でお申込みいただくか、劇場HPの申込フォームからお申込みください。



近藤芳正

受付開始=12月14日[土]

館内を歩き、階段の上り下りがありますので動きやすい服装・靴でご参加下さい。

PLAT劇場ツアー

- 日時=1月11日[土] 10:00-14:00 ●会場=PLAT主ホール 他
- 参加料=500円 ●定員=30名 [先着順]
- 申込方法=プラットチケットセンター
電話のみ Tel:0532(39)3090

※今回以降も随時開催してまいります。日程等は本誌や劇場HPなどでご案内いたします。

受付開始=12月14日[土]

グロトリアンを弾いてみよう

グロトリアンピアノの響きを体験できる機会を設けました。大切に扱ってくれる方ならお子様でもかまいません。

- 日時=1月13日[月・祝] 12:00—20:00
- 会場=PLAT創造活動室A
- 参加料=1時間あたり1,000円 ●対象=ピアノ演奏ができる方
- 募集人数=毎時00分から1時間単位で最大2時間まで
- 申込方法=プラットチケットセンター
電話のみ Tel:0532(39)3090

※今回以降も随時開催してまいります。日程等は本誌や劇場HPなどでご案内いたします。

“たまちゃん先生”がいのちを吹き込みにやってきた

PLAT×玉田多紀 [造形作家]



PLAT美術ワークショップ
『ダンボールで生き物を作ろう!』



ない」「こーでもない」と悪戦苦闘しながらも、個性豊かな作品が完成しました。参加者からは、「ダンボールでこんなにいろいろな動物をつくるなんて、びっくり」「小学校の図工を思い出した」「子供にダイナミックな造形体験がさせられて良かった」といった嬉しい声も。生まれたばかりの生き物たちに玉ちゃん先生が声をかければ、鳴き声さえ聞こえた気がして、アートスペースが動物王国になった瞬間でした。

[たまたたき] 2007年、多摩美術大学造形表現学部卒業後、ダンボールのみを使用した立体造形創作の道へ。07年度トーキョーワンダーウォール公募入選、10年度YOKOHAMA創造界隈ZAIMコンペ、10年度世田谷区芸術アワード“飛翔”生活デザイン部門受賞。



10月19・20日の2日間、造形作家・玉田多紀さんによる美術ワークショップがアートスペースで開催されました。集まった参加者は2日間で130人。親子で参加する姿も目立ち、好きな生き物を作ろうと会場は熱気に包まれていました。

初日のアートスペースは開けてびっくり。全長6メートルもある首の長い恐竜に、大きく翼を広げた鳥、かと思えば、お尻だけのライオンやブタが尻尾ゆらゆら、おしゃべりだつて聞こえそう。その数、実に30点。ぜんぶ玉田多紀さんの作品です。ダンボールで

作られた「生き物」なのに表情はそれぞれに個性があつて、彩色もしていないのになんとなくカラフルなのが不思議です。

「廃棄される運命のありふれた素材が自分の手を加えることで生き物に生まれ変わる。それは命を吹き込む作業です」と、玉田さん。「生き物を包んでいるのは地味な皮膚。でも、よくよく見るとその色にはさまざまな変化があります。一方のダンボールも同じ『茶』でも、質感は微妙に違う。水に浸すと焼きたてパンの香りがしたりして。そんなダンボールだからこそ生きている生き物を表現できるんです」。

それを体感してほしくて、日本各地の小学校やアートイベントでワークショップを開催、ついに、ここアートスペースにやってきた次第です。ワークショップでは玉田さん扮する玉ちゃん先生の指導の下、ダンボールを折ったり千切ったり、剥がしたり貼ったり。子どもも大人も、「あーでも



芸術文化アドバイザー

第3回

平田 満のちよこっとエッセイ



「こども造形パラダイス」

私が小学校に入学した時の最初の担任は、白井先生という美術が専門の女性の先生でした。要領が悪く、万事緩慢で不器用な私にも我慢強く指導してくださるやさしい先生でした。

いろんな教科を教えて下さったのですが、特に図工の時間は楽しかったことをよく覚えています。一番印象に残っているのは「こども造形パラダイス」です。先生の考えたのは、新聞紙など紙で形にし、色をつけて魚を作り、豊橋公園の一面を釣堀にして磁石の付い

た釣竿で魚釣りをするというものでした。私は大好きなチョウチンアンコウを作りました。ほめられた嬉しさと一般の人が遊んでくれた感激は今でも忘れられません。絵がうまいわけでも芸術的センスに秀でているわけでもない私が、現在もアートに興味を持ち、美術館や展覧会に足を運ぶのは、白井先生のおかげだと思っています。つくる楽しみ、芸術に親しむ楽しみを50何年前、白井先生と「こども造形パラダイス」が教えてくれたのでした。

<p>〒440-0862 愛知県豊橋市山手町一丁目九番地 白井琢也公認会計士事務所 http://www.shirai-cpa.com 電話 0532-15712630</p>	<p>本の豊川堂 カルミア店 五五二八〇番 アピタ店 五五二八〇番 ピタ店 五五二八〇番</p>	<p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川町91-2 〒440-0035 Phone: 0532-62-1332 (代) Fax: 0532-62-1332 浜松事務所 / 浜松市東区流通元町13 〒430-0007 Phone: 053-422-3628 (代)</p>	<p>外科・内科・胃腸科・麻酔科・消化器科・呼吸器科 伊藤 藤 医院 豊橋市小池町字原下三十五 電話四五二八三番代</p>	<p>看板広告 アラキスタヂオ 豊橋市上伝馬町十六 電話 〇五五八六番</p>	<p>医療法人 慈 豊会 大島整形外科クリニック 理事長 大島 照夫 院長 大島 敬 東田町井原三九の七(市電赤坂口駅前) 電話 六二二〇五番</p>	<p>医療法人 赤岩 病 院 院長 赤岩 病 電話 六二二〇五番</p>	<p>YMバレエ カンパニー ハロートウ 21 8610 電話 六二二〇五番</p>	<p>有限会社 魚 伊 電話 52-5256</p> <p>本と文具なら 精文館書店 TEL.54-2345</p>
--	--	--	--	---	---	--	---	--

<p>竹内産婦人科 産婦人科 婦人科(不妊治療) 豊橋市新本町23 豊橋 竹内産婦人科 検索Q</p>	<p>氷各種販売 / 冷蔵倉庫業 大正冷蔵 本社 豊橋市湊町117 TEL: 0532-52-1161 FAX: 0532-52-8015</p>	<p>山本製粉株式会社 ホンポッ ラーメン なつかしの味 つくしの味</p>	<p>写楽集団・クラブ KAIHO KOTARO 海老原 大島 照夫 NORI-G 倫理 大島 敬 GUCCHI 環境 大島 敬 TAKEDA 広報 大島 敬 photo</p>	<p>株式会社 谷山建築設計事務所 豊橋市西羽田町一八三 http://taniyama-archi.com</p>	<p>調理と製菓のおいしい資格。 豊橋調理製菓専門学校 豊橋市八町通一丁目五十二 TEL 五三二八〇九</p>	<p>グロトリアンピアノ地域特約店 白羽楽器株式会社 電話 0531-46413015</p>
<p>ONOCOM 株式会社オノコム</p>	<p>三河の滋味 創業明治七年 つくだ煮 梅香園</p>	<p>SUBARU スバル東愛知販売(株) 豊橋店 豊橋市大橋通二丁目二五 TEL: 0532-31-1133</p>	<p>空録 稲荷亭 空録 豊橋店 豊橋市大橋通二丁目二五 TEL: 0532-31-1133</p>	<p>創業文政年間 美坂 日楽 さく宗 豊橋市新本町40 電話 52-5473番</p>	<p>天之美祿 なりの花でん コリアフロント ホテルアクリッシュエー</p>	<p>豊橋名産 舟ちくわ</p>

<p>気まぐれコンサート 事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)</p>	<p>am.10:00~pm.5:00 るる 茶屋 甘味処 抹茶・コーヒー あんみつ・豆かんでん 中岩田5丁目6の4 TEL.63-0202</p>	<p>呉服 田中屋 豊橋市小池町36番地の1 TEL 46132881 FAX 46132885</p>	<p>プラスワンの付加価値をお客様に提供いたします。 共和印刷株式会社 豊橋市小池町36番地の1 TEL 46132881 FAX 46132885</p>	<p>整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科 医療法人 大岩整形外科・皮フ科 院長 大岩 俊久 豊橋市大橋通二丁目二五 電話 五五二一〇〇</p>	<p>伝統的工芸品豊橋華 書道用品専門店 高誠堂 豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二一五五一四</p>	<p>創業文政年間 美坂 日楽 さく宗 豊橋市新本町40 電話 52-5473番</p>	<p>豊橋名産 舟ちくわ</p>
--	--	---	---	--	--	---	------------------------------

プラットフォーム募集中 [入会金・年会費無料]

お得な3つの特典

- 特典1 公演情報をメールでご案内します。
- 特典2 インターネットでチケット予約ができます。
- 特典3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。

登録方法

- WEBで登録 [穂の国とよはし芸術劇場HP] <http://toyohashi-at.jp>
- 携帯で登録 <https://piagettii.e-get.jp/online-ticket/de/>
- 窓口で登録

穂の国とよはし芸術劇場 Tickets & Information カウンター

チケット購入案内

- ◆プラットフォームセンター [会員先行・一般発売]
 - Web=<http://toyohashi-at.jp> ※プラットフォームへの登録が必要です。
 - Tel=0532(39)3090
 - 受付時間 [Tel・窓口] 10:00~19:00 (休館日をのぞく)
- ◆その他 [一般発売・公演によって販売所は異なります]
 - チケットぴあ / カルミア2Fサービスセンター
 - ほの国百貨店6Fプレイガイド など

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
 Tel=0532(39)8810 [代表] <http://toyohashi-at.jp>
 開館時間=9:00~22:00 休館日=第三月曜・祝日の場合は翌日・年末・年始。
 豊橋駅 (JR東海道新幹線・東海道本線・名古屋鉄道)、新豊橋駅 (豊橋鉄道渥美線) 直結。豊橋駅南口から徒歩3分。 ※駐車場はありません。公共交通機関、お近くの公共駐車場等をご利用下さい。



PLAT CALENDAR

2014.1 JANUARY

- 6 MON 裏千家六日会初釜 三の丸会館
8 WED - 14 TUE 第93回華墨会小品展 ほの国百貨店9F特別サロン
10 FRI 第717回邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館
12 SUN 茶道クラブ初釜〔表千家豊水会〕 三の丸会館
13 MON AIピアノ教室発表会 PLATアートスペース
伊藤民謡会 第49回チャリティー民謡大会 豊橋市公会堂
裏千家静和会初釜 三の丸会館
14 TUE - 16 THU 豊橋演劇鑑賞会 第240回例会
俳優座劇場公演「わが町」 PLAT主ホール
18 SAT - 19 SUN 劇団豊橋演劇塾公演 横内謙介作『新羅生門』 PLATアートスペース
19 SUN 春風亭小朝プロデュース ニューイヤー「三つの夢コンサート」
～春風亭小朝・青島広志・寺井尚子～ PLAT主ホール
第13回年令別歌謡選手権大会 豊橋市公会堂
宗徧流豊橋支部初釜 三の丸会館
25 SAT 『美しきトリオ室内楽コンサート』～高橋多佳子・磯絵里子・新倉瞳～ PLAT主ホール
26 SUN 豊橋おやこ劇場 小学生例会
イツフォーリーズ「ルドルフとイッパイアッテナ」 PLAT主ホール
三河市民合唱クラブ演奏会 アイブラザ豊橋
26 SUN - 2/2 SUN 創価学会「自然との対話—池田大作写真展」 PLATアートスペース
31 FRI 第718回邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館

2 FEBRUARY

- 1 SAT - 2 SUN 愛知チャレンジド・クリエイティブ・アワード
「第4回『とよはし音楽祭』」 豊橋市民文化会館
2 SUN 中学生と消防音楽隊のジョイントコンサート PLAT主ホール
茶道クラブ月例茶会〔煎茶売茶流〕 三の丸会館
6 THU 裏千家六日会月釜 三の丸会館
7 FRI 第719回邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館
8 SAT 豊橋ドリールの会 豊橋教室発表会 PLATアートスペース
8 SAT - 9 SUN 彫琢会 柴田英雄社中展 名豊ビル本館5階イベントホール
9 SUN ケイリン福祉コンサート『読売日本交響楽団演奏会』 ライフポートとよはし
気まぐれコンサート第20回記念公演 PLAT主ホール
11 TUE 近藤音楽教室 ピアノ発表会 PLATアートスペース
16 SUN seboneライブ2014 PLAT主ホール
Le Gioie デュオコンサート PLATアートスペース
21 FRI 志多らユニットライブ『開打』 PLATアートスペース
22 SAT - 23 SUN ロイヤル・ウィンド・オーケストラ第3回定期演奏会 PLAT主ホール
23 SUN 煎茶売茶流初春茶会 三の丸会館
第23回豊橋竹道会尺八演奏会 カリオンビル6Fホール
28 FRI - 3/2 SUN とよはし演劇工房『失望のむこうがわ』 PLATアートスペース

企画・発行＝公益財団法人豊橋文化振興財団
編集＝森 絹江／デザイン＝松吉太郎デザイン事務所
写真〔表紙〕＝谷古宇正彦
平成25年12月 発行5号〔隔月発行〕

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
Tel 0532(39)8810〔代表〕 <http://toyohashi-at.jp>

